

科目名	ソーシャルワーク総論B		科目コード	W31006		単位数 時間	2単位	対象 学年	1年	開講 学期	後期
			科目ナンバリング	W-PPSW1-05H			30時間				
区分	社会福祉系列科目 社会福祉士指定科目	必修 必修	担当者名	小川 幸裕				授業 形態	講義	単独	
授業の 概要等	〔授業の主旨〕 ①社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。 ②ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。 ③マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解する。 ④総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。										
	〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの5に関連し、カリキュラムポリシーの5-1, 5-2, 5-3に関連している。										
到達 目標	①社会福祉士の職域と求められる役割について理解することができる。 ②ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解することができる。 ③マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と連関性について理解することができる。 ④総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解することができる。										
授 業 計 画											
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修						備 考	
第1回	ソーシャルワーク専門職の概念と範囲			ソーシャルワーク専門職の概念と範囲について学ぶ。						講義	
第2回	社会福祉士の職域(1)			行政関係、福祉関係(高齢者領域、障害者領域、児童・母子領域、生活困窮者自立支援・生活保護領域)について学ぶ。						講義 グループワーク	
第3回	社会福祉士の職域(2)			医療関係、教育関係、司法関係、独立型事務所等と社会福祉士の職域拡大について学ぶ。						講義 レポート課題	
第4回	福祉行政における専門職			福祉事務所の現業員、査察指導員、社会福祉主事、児童福祉司、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司等について学ぶ。						講義	
第5回	民間の施設・組織における専門職			施設長、生活相談員、社会福祉協議会の職員、地域包括支援センターの職員、スクールソーシャルワーカー、医療層ソーシャルワーカー等について学ぶ。						講義	
第6回	諸外国の動向			欧米諸国の動向、その他諸国における動向について学ぶ。						講義	
第7回	マイクロ・メゾ・マクロレベルの対象			マイクロ・メゾ・マクロレベルの意味、マイクロ・メゾ・マクロレベルの対象について学ぶ。						講義	
第8回	マイクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク			マイクロ・メゾ・マクロレベルの意味、マイクロ・メゾ・マクロレベルの対象について学ぶ。支援の実際について学ぶ。						講義	
第9回	総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意味と内容			多機関による包括的支援体制、その実際について学ぶ。						オンデマンド授業	
第10回	ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容(1)			フォーマル・インフォーマルな社会資源との協働体制について学ぶ。						講義 グループワーク	
第11回	ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容(2)			ソーシャルサポートネットワークについて学ぶ。						講義 グループワーク	
第12回	ジェネラリストの視点に基づく多職種連携及びチームアプローチの意義と内容(1)			多職種連携及びチームアプローチの意義について学ぶ。						講義 レポート課題	
第13回	ジェネラリストの視点に基づく多職種連携及びチームアプローチの意義と内容(2)			機関・団体間の合意形成と相互関係について学ぶ。						講義 グループワーク	
第14回	ジェネラリストの視点に基づく多職種連携及びチームアプローチの意義と内容(3)			利用者、家族の参画について学ぶ。						講義 グループワーク	
第15回	講義全体のまとめ			講義全体のまとめをおこなう。						講義 グループワーク	
評価 方法 及び 評価 基準	講義への参加態度10%、レポート30%、定期試験60%で評価します。 定期試験では、【知識・理解】の観点から到達目標に掲げた項目について基本概念や専門用語の理解を試す問題を出し評価します。また、【科目への関心・学習意欲・受講態度】【問題解決の思考・判断】【技能・表現方法】の観点から、リアクションペーパー、小テスト、レポート提出を求めます。 リアクションペーパーは、講義の理解度および疑問点についての記載を課し、評価します(配点は1回1点とし、各項目で半分以上記載されていない場合は評価対象としません)。 レポートは、ソーシャルワークの形成過程および視覚教材についての所感レポートを課し、評価します。										
課題等	フィードバックとしてリアクションペーパーに記載された疑問について、講義内でコメントを返します。										
事前事後 学習	講義時に、次回の予告を行うのでテキストや関連するサイトや文献を事前に学習ください。 授業中に案内するサイトや文献による事後の学習を行ってください。 準備学習時間の目安：1日あたり30分以上。										
教材 教科書 参考書	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(2021)『ソーシャルワークの基盤と専門職』中央法規出版 ISBN 978-4-8058-8241-2										
留意点	・教科書の授業範囲を事前・事後に読むなど、学んだことの理解を自ら深められるような努力を期待します。 ・社会福祉に関わる行事やボランティア活動に参加したり、地域社会で起こっていることについて新聞やニュース、社会問題を取り上げた番組や映画、図書館へ通い関連する本を読むなど広く社会への関心を高めてください。 ・オンデマンド授業は、指定された期間に、ネット上にアップされた授業動画を視聴し、授業で指示された課題およびコメントを提出してください。詳細は授業内に説明します。 ・Teamsを通じて、授業内容に対する質問、コメント等を受けつけます。										